



本事業は、内閣府地域社会雇用創出事業（北海道地域再生推進コンソーシアム実施）による広域支援金の提供を受けています。

今秋、灯油から薪へとボイラー転換を図る計画。現在、マチの「薪軍団」がボランティアで間伐材や薪材を産出し、試行に挑戦してくれています。

マチコミ取材班

噂の店や
宿を
たずねて

「黄金湯」は、地方で挑む健康生活のコミュニティ。

昨秋、中頓別に5年振りに銭湯が復活！

なぜ中頓別で銭湯をはじめたの？

老師の銭湯ならともかく。いまの時代、浴場経営で生計を立てようと考える人がいるでしょうか。しかも人口わずか2千人規模の小さなマチで、ほぼすべての人が自宅に浴室を備えているというのに、例えば冬の厳しい寒さや吹雪の中、わざわざ銭湯に足を運んでくれるでしょうか。

ところが、そんな不安をよそに、一見不可能と思えることも実現してしまふ、それが渡辺さんという人のパワーなのです。

指は短いが、手のとてもしゃべり、大きな女性がいま、道北の山間部、中頓別のマチを温かいお湯と心で包み、あふれる優しさを注ぎ込んでいます。

「とさんご会員（NPO法人）だ

どさんご海外保健協力会）だった頃、平成20年に中頓別町で開かれた「ソーシャル・フアム」（社会的起業）の講演会に参加したことが、この町との出会いでした。札幌からすると遠く小さい、自然環境の大変厳しいところだと思いましたが、とてもしゃべり、優しい町だという印象を持ちました。以来、私の中に中頓別が居着いてしまふ、知らず知らずのうちにナカトンの情報を探しはじめて。そんな時、町の広報誌に掲載されていた公衆浴場の売却記事を目にしたのです。

そして平成22年10月に移住し、

昨年10月10日（1010 /

せんとうの日）に開湯し

ました。」

どうして銭湯だったのですか？

「お風呂屋さんをやりたいかっただけではなく、お風呂屋さんでやりたかったのです。何をって？私は元々看護師・保健師でしたから民間でなければできない健康なマチづくりを自分で仕掛けたかったのです。ここは銭湯ではあるけれども地域のコミュニティの場でもあるのです。例えば休憩室で映画の上映会やミニコンサート、移動市場などを開催しています。今後も落語の寄席やカフェのような軽食も提供できたらと考えています。」

現在の利用状況や目標は？

「おかげさまで1日平均25名以上の利用者があります。もうまもなくボイラーを薪で焚きはじめます。そうすると利益も生まれ、やがては障がい者もここで雇われます。絶対にできますよ。中頓別には不可能を可能にする底力があります。」

建物は内外とも小奇麗
店舗前に数台分の駐車場を完備



黄金湯 代表 渡辺 由紀子さん(57)
株自由記産 代表取締役
新博町生まれ。北広島市育ち。3児の母。
今は平成18年に抱持。平成20年、青年海外協力隊員としてアメリカへ派遣。
平成22年、単身で札幌市から中頓別町に移住。翌23年10月、黄金湯をオープン。

Information

黄金湯

枝幸郡中頓別町中頓別60-1

TEL 01634-6-2300

●営業時間 18:00～21:00

●入浴料、大人400円・中高生

200円※小学生以下は大人同伴

で無料。単独の場合100円

●定休湯／毎週木曜日

●毎週土曜日は、変わり風呂

●毎月26（ふる）日、サービス有



<http://koganeyu-nakaton.com/>

お得な回数券

●5枚連（お得な回数券）大人1,500円・学生800円・敬老1,000円

●11枚連（さらにお得な回数券）大人3,000円・学生1,600円・敬老2,000円

※敬老の対象者は満70歳以上、または障がいのある方